



ねっとわーく広報

第20号



小暑の候、皆様におかれましては益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。
 今年は梅雨入りが早く、麦刈り時期に雨が続きましたが、皆様のご協力もあり無事に作業を終える事が出来ました。まだまだ農繁期が続きますが、健康にはくれぐれもご留意ください。

ネットワーク大津(株) 4、5、6月の主な行事

4/7 赤カビ防除開始(4/20 終了)	5/20 作業委託管理費の支払い(令和2年産産地資金清算)
4/15 作業委託管理費の支払い(令和2年産大豆精算)	6/7 水稻苗出荷開始(6/28 出荷終了)
4/19 オペレーター安全講習会	6/28 田植え体験

定例取締役会：主な内容について

4/5 : 第1号議案 固定資産(機械導入)の取得について

自己資金での機械(ツインレーキ)導入について協議を行いました。出席取締役全員賛成で、可決されました。

報告事項 産地交付金 飼料用・米粉用米複数年契約加算について

飼料用・米粉用米複数年契約(基幹)12,000円/10aについて、令和2年産の88haを基準とし令和3、4年も88ha以上を確保しないと返還しなければならない。令和4年産で3年契約完了となり、面積と交付金確定後に配当すると報告。

5月の定例取締役会は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、3密の視点から開催中止

- 報告事項
- ・田植え農作業委託分の育苗箱洗浄・運搬は、作業員が勤務作業としてタイムカードを打刻して下さい。
 - ・今年の農地中間管理機構を活用した利用権設定の契約は、闇小作解消を目的に結んでまいります。そこで、対象者に「令和3年利用権設定確認書」を5月10日に郵送しています。

6/7 : 報告事項 水稻ウンカ類の払落し調査計画について

今年のウンカ対策として、昨年より早めに防除時期のタイミングを見極められるよう計画しております。取締役にも集落の状況を確認して頂き、協力して防除計画を進める必要があります。JA及び振興局との連携・指導の下、防除作業に努めて参ります。

令和3年産の麦

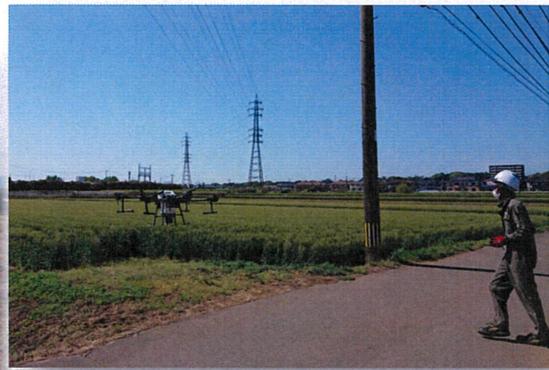
令和3年産麦の赤カビ防除は、委託作業において全てドローンによる空中散布を行い、大麦・小麦合わせて約170haの面積を8日かけて散布しました。新規で導入したT20は散布幅が広いこともあり、条件の良い圃場・地区において作業効率が高いことを実感出来ました。

今年は何年よりも大変早い梅雨入り
が麦の収穫時期と重なり、本社で行う大麦ワラの回収作業にも大きな影響を及ぼしました。作業時は、都度各集落との連絡を取り合い作業計画の練り直しを余儀なくされました。構成員の皆様には作業遅延に関して突然の変更にも係わらず、ご理解頂きありがとうございます。また、早期の梅雨入りは小麦にも悪影響を与え、



新規導入した ER470(クボタ)

収穫時の品質低下に繋がりました。



TMR事業報告

5月においては、大麦ワラ回収時にTMR製造の人員を全て回収作業に配置し生産を停止しておりましたが、4月から生産量の調整・計画の見直しを行うことで製品は問題なく出荷出来ております。本年も良品質の製品をご提供できるよう作業に努めて参ります。

大麦ワラ回収実績

ロール規格	回収面積	個数
100cm	30.6ha	814個
120cm	20.5ha	305個

	水の恵みTMR1号 (繁殖)		水の恵みTMR2号 (肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	12,355 kg	36,689 kg	26,000 kg	32,333 kg
5月	0 kg	25,296 kg	0 kg	26,645 kg
6月	35,221 kg	26,265 kg	0 kg	16,195 kg
合計	47,576 kg	88,250 kg	26,000 kg	75,173 kg

	水の恵みTMR3号 (繁殖)		水の恵みTMR4号 (酪農)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	144,492 kg	69,536 kg	127,115 kg	115,451 kg
5月	0 kg	68,340 kg	0 kg	135,719 kg
6月	74,211 kg	49,838 kg	158,228 kg	174,125 kg
合計	218,703 kg	187,714 kg	285,343 kg	425,295 kg

	試験・試作TMR 計		合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	3,859 kg	6,368 kg	313,821 kg	260,377 kg
5月	3,804 kg	3,899 kg	3,804 kg	259,899 kg
6月	58,170 kg	9,418 kg	325,830 kg	275,841 kg
合計	65,833 kg	19,685 kg	643,455 kg	796,117 kg



水稻育苗

令和3年産の水稻育苗では昨年まで本社で育苗していた主食用米もついに育苗センターへ委託しました。現状育苗数も約1万枚程度で安定している為、今後も全数委託契約を継続する予定です。今年の苗は昨年の反省を踏まえ、育苗期間中の管理条件を見直し出荷致しましたが、早期の梅雨入りによる夜温の低下もあり、出荷時の草丈が多少心持たない出来となりました。

た。今後も品質の良い苗を提供できるような努め、管理条件の見直し等を行って参ります。

昨年の実績を踏まえ今年の本社小作地は一部を除き全て密苗※1とし、1箱当たりの播種量を通常より1.5倍(300g)に設定し、10a当たり9箱計算で田植えを

行いました。また、今回は防人箱剤試験※2に下陣内集落の圃場が提供され、慣行の田植え当日散布と防除効果に違いが無いか経過観察を行っております。育苗箱全量施肥試験※3は今回根張りの調子が良く、ひとつの課題をクリア致しました。今回の結果を踏まえ、今後普及しても問題のない安定した品質の苗を目指して参ります。

育苗実績

計 13,963 箱

主食用米	
ヒノヒカリ	609箱
ヒヨクモチ	65箱
WCS	
夢あおば	4,373箱
飼料用米	
夢あおば(通常)	7,977箱
夢あおば(密苗)	525箱
夢あおば(苗箱まかせ)	144箱



用語解説

※1. 密苗とは？

1箱の種子量を増やして播くことで田植え時の苗箱を減らし省力化・低コスト化等を実現する技術です。

※2. 育苗箱全量施肥とは？

播種時に苗箱まかせを施肥することで、従来行っていた肥料散布作業を省略し、低コスト・省力化等を目指す技術です。



※3. 防人箱剤試験さきもりとは？

播種時に箱粒剤(防除剤:防人)を同時に散布することで、田植え時に行う作業を省力化し、1箱当たりの薬剤投与(50g)を均一に行える技術です。

オペレーター研修

4月19日に、当社にてオペレーター安全講習会が開かれました。今

回の講習会では、講師にクボタを招き、13集落のオペレーター44名が参加し、機械格納庫下屋でコンバインのメンテナンス方法や、異常発生時の対処方法等の説明を受けました。農作業事故は

4〜10月(農繁期)での事故が多く、年間でも大きな割合を占めておりますので、今回の講習を踏まえ、参加したオペレーターの皆様と共に安全意識の向上に努め、作業に臨んで参ります。



田植え体験

6月28日に、田植え体験が開催されました。今年には感染症にも考慮し対策を講じやすい本社機械倉庫前の圃場で開催しました。子供達は取締役・社員から指導を受け、約5aにもち米（ヒヨクモチ）を田植えしました。田植え後は、泥んこではしゃぎ回る姿に大人たちも元気を貰いました。田植え体験後は当社による植え直しを行わず、体験エリアを除く箇所には田植え機による作業を行いました。稲刈り時には、稲の収穫を味わえるのではないかと思います。



感染症対策内容について

- ・マスク常時着用の担保
- ・大声を出さないことの担保
- ・消毒
- ・参加者の制限及び把握
- ・催物前後の行動管理
- ・入退場やエリア内の行動管理
- ・地域の感染状況に応じた対応 等

以上の項目を念頭に置き、大津町役場に連絡・相談の下、開催致しました。

新入社員紹介



氏名：江藤 龍誠 えとう りゅうせい

年齢：44

趣味：模型

ひとこと

7月から社員として働きます。よろしくお願いいたします。

今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会

7/5 集落運営費の支払い

7月下旬 稲わら契約書の配布

7月下旬 水稲一斉防除

8月上旬 下期監査

8月中旬 第1回大豆防除

8月上旬 農作業受委託契約書の取りまとめ

8月下旬 第2回水稲一斉防除

9月上旬 第2回大豆防除

9月上旬 令和3年作付麦の作業委託申込書の配布

9/9 第9回定時株主総会

9月下旬 SGS刈取り・製造作業開始

9月下旬 オペレーター研修会



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章